

漁況予報 いわし

第 1 1 4 号

2002年11～12月漁期
(2002年11月 日発行)

＝ 概況 ＝

【まいわし】

主要定置網における9月のマイワシ総漁獲量は、26トンで前年同期の60%でした。上旬は中羽マイワシ主体に散発的な漁模様でしたが、中旬～下旬にかけて大羽マイワシが相模湾東部に来遊したおかげで諸磯～鎌倉地区にかけて1～2日間1～7トン/統/日のまとまった漁がありました。東京湾および江ノ島以西には来遊がありませんでした。中型まき網(4統)も同時期にまとまった漁があり計100トン程度の漁獲がありました。今回来遊した大羽は体長17～23cm(モード21cm台)、肥満度12～16の肥えたイワシが主体でした。

しかし、大羽がまとまって来遊したのはこの2週間だけで、10月に入ると下旬に米神地区で数百kg/日の漁獲がある以外はまとまった漁が無く、再び1歳魚主体で極めて低調な漁模様で推移しています。

9月までの県下の累計マイワシ漁獲量は200トン程度で、これは不漁であった前年同期と比較しても1割にも満たない深刻な事態となっています。

【かたくちいわし】

主要定置網における9月のカタクチイワシ総水揚げ量は、20トンとさすがに前漁期までの勢いはないものの、それでも前年同期の5倍と前漁期に引き続き好漁を維持しました。地区別では、長井・鎌倉・大磯での水揚げ量が目立ちました。佐島地区のまき網は、中旬からマイワシに漁獲努力が向けられたこともあり漁獲量はさほど伸びませんでした。

10月に入ると、14日に三浦半島周辺にカタクチイワシがまとまって来遊して、周辺の定置でまとまった漁があり、佐島地区のまき網もカツオ船用の餌イワシとして各船とも10数個の生け簀に活かしました。

【しらす】

近年にない不漁が続く相模湾のシラス漁ですが、9月に入ると上旬～中旬にかけて平塚地区を中心とした奥部でまとまった漁があり、漁獲水準は100～500kg/統/日と好漁となりました。奥部では10月に入っても中旬からまとまった漁が続き前年同期を上回る漁獲水準で、特に20日前後は同500kg前後の漁獲が続きました。

一方、相模湾東部地区は相変わらずの不漁傾向が続いており、魚群探索で終わる日も珍しくなく、獲れても同30kg以下の漁獲水準で推移しました。

卵が多かったにも係わらず、夏以降も不漁だったことについて、関係漁業者の話でも痩せている個体が多く20mm未満の個体が多かったことから、シラスの個体数に対して餌となるプランクトンの絶対量が少なく餌不足に陥り、生残率が低かったことも一因ではないかと考えています。

＝ 予 報 ＝

過去5年の11・12月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

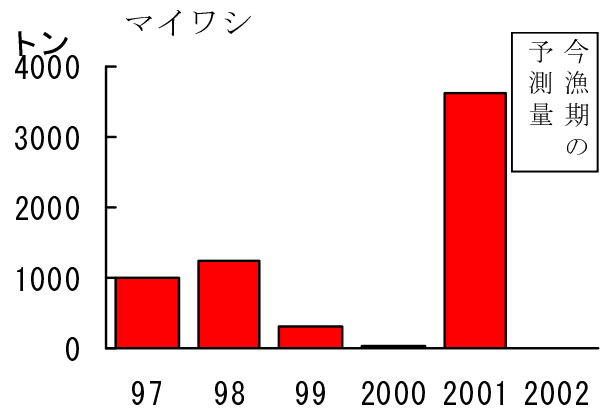
まいわし

今漁期は、中羽イワシ(2001年級群)が漁獲の主体となり、定置網主体に散発的に入網するものと思われます。

今漁期の漁獲量は、約10トンと予測されます。

ただし、昨年のように暖水波及等により大羽がまとまって来遊すれば、予測量を越えることもあるでしょう。

*縦軸：主要定置網+まき網

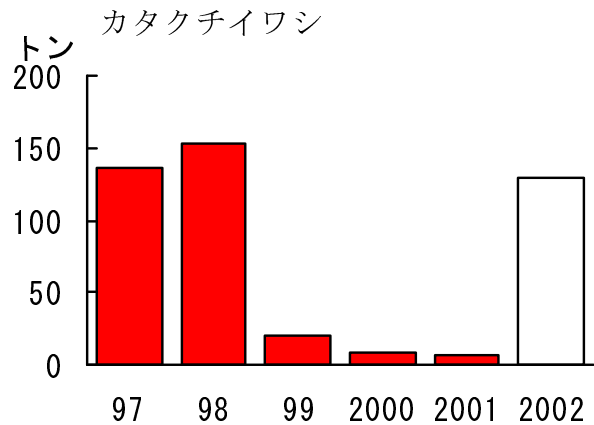


かたくちいわし

今漁期は、小型成魚が漁獲の主体となります。

資源状態は良好ですので、過去2年以上の漁獲が期待できます。

今漁期の漁獲量は、約130トンと予測されます。

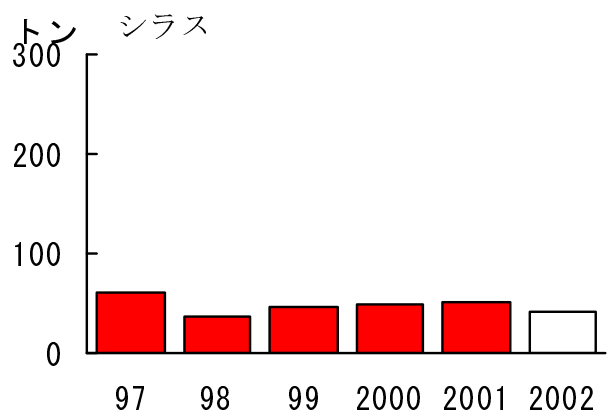


しらす

今漁期は、9～10月生まれのカタクチシラスが漁獲の主体となります。

この時期の漁獲量は年間漁獲量の1割程度を占めていて、年変動もあまりありません。

今漁期の漁獲量は、約40トンと予測されます。



神奈川県水産総合研究所 資源環境部
三浦市三崎町城ヶ島 (0468-82-2313)